

令和４年度 的矢湾アマモモニタリング結果

調査日時：令和５年２月２０日（月）

調査地点：坂崎

方 法：マット方式（令和元年度設置）

アマモ生育状況：確認できず

港内地点（前回調査でアマモが生育していた場所）



前回（令和４年４月１９日実施）の調査では港内１３メートル地点にて１本のアマモが生育していたが、今回の調査でそのアマモも認められなかった。

マット上における泥の堆積は約８センチで、それ以上のところもあった。

港外地点（マット上の堆積物）



港外西側のマット内外のアマモの繁茂はこれまでと同様に認められなかった。またこの地点は、多量のヨシ・竹・流木などの堆積物により、設置したマット上面の全域が沈殿物で覆われていた。なお、ランダムに投入したアマモ団子投入地点周辺においてもアマモは確認できなかった。

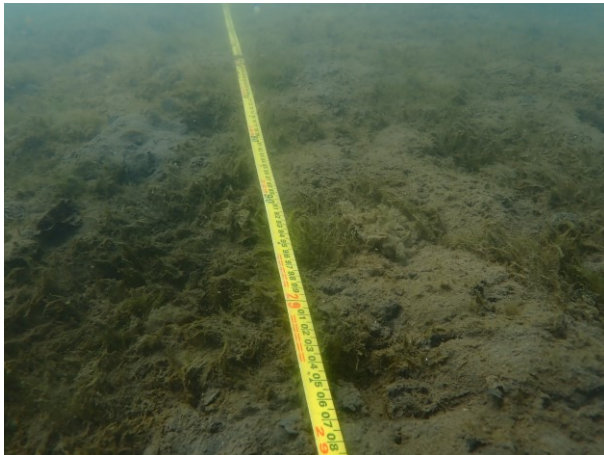
周辺に分布する海藻は、アオサ目やイギス目、ツルモ・ムチモなどが認められた。

調査地点：飯浜オガエ地区

方 法：マット方式（平成 30 年度設置）

アマモ生育状況：確認できず

粒度の細かい泥の堆積が多い様子



マット上および内外にアマモは認められなかった。

マットの埋没は全体に 6～8 センチ、粒度の細かい泥が堆積している。

調査地点：飯浜オガエ地区

方 法：マット方式（平成 29 年度設置）

アマモ生育状況：確認できず



マット上には泥が 5～7 センチ程度堆積している。この地点は、枯れ葉などは少ない。北側及び南側のいずれのマットにもアマモの分布は認められなかった。